

住民説明会資料②

【御意見・御質問に対する回答】

ここからは、平成31年3月に太田地区で開催した住民説明会や、他の地区での説明会等で寄せられた御意見や御質問についてお答えします。主な項目は次のとおりです。

No	分野
1	環境影響・有害物質
2	交通対策
3	エネルギーの利活用
4	その他

1 環境影響・有害物質

No	内 容
①	焼却施設や運搬車両からの排気ガスが「ぜん息」や「公害」の原因になっているのではないか。
②	西から東に吹く風向きの関係から、ごみ処理施設の設置に適していない。時期的な風向きについて示してほしい。
③	騒音や悪臭が心配だ。

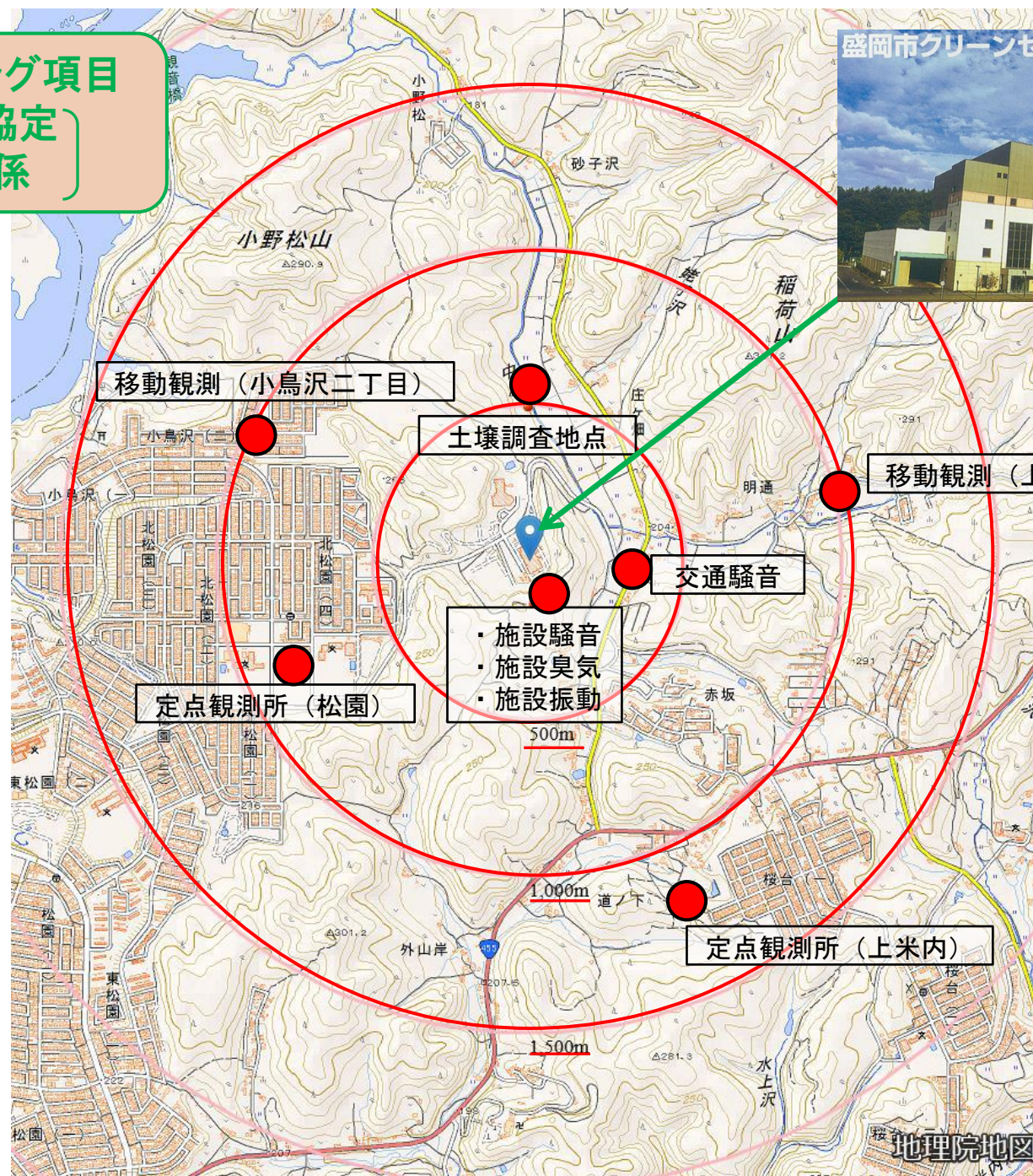
1-① 焼却施設や運搬車両からの排気ガスが「ぜん息」や「公害」の原因になっているのではないか。

ごみの焼却に伴って発生する「排気ガス」の中に含まれる有害物質と処理対策

有害物質	発生原因	除去方法
ばいじん	<ul style="list-style-type: none"> ■排気ガス中の固形物（いわゆるスス） 	<ul style="list-style-type: none"> ■バグフィルター等の集じん装置により除去
硫黄酸化物	<ul style="list-style-type: none"> ■ごみ中の硫黄（ゴムの加硫剤、ビニール添加剤）や石油の燃焼 	<ul style="list-style-type: none"> ■乾式（消石灰、重曹など吹込） ■半乾式（消石灰スラリなど吹込） ■湿式（カセイソーダ洗浄）
窒素酸化物	<ul style="list-style-type: none"> ■ごみ中の窒素分の燃焼 ■空気中の窒素と酸素の反応 	<ul style="list-style-type: none"> ■燃焼抑制，無触媒・触媒式脱硝（アンモニア・尿素で分解）
塩化水素	<ul style="list-style-type: none"> ■ごみ中の塩素分の燃焼 	<ul style="list-style-type: none"> ■乾式（消石灰、重曹など吹込） ■半乾式（消石灰スラリなど吹込） ■湿式（カセイソーダ洗浄）
ダイオキシン類	<ul style="list-style-type: none"> ■不完全燃焼（不完全燃焼の炭素） 	<ul style="list-style-type: none"> ■燃焼制御，活性炭（吹込，吸着），触媒式（燃焼制御）
水銀	<ul style="list-style-type: none"> ■ごみ中の水銀に由来（体温計，電池，血圧計等） 	<ul style="list-style-type: none"> ■活性炭（吹込，吸着）

環境モニタリング項目
〔公害防止協定〕
第7条関係

盛岡市クリーンセンター



「焼却施設から、生活環境等に影響する有害物質が出ているのではないか」という御質問を頂いています。

実際に、施設周辺でそのようなことが起こっているのか、次の2つの測定結果で比較してみました。

①盛岡市クリーンセンターで測定している**施設周辺の測定結果**

②盛岡**市内測定結果**

測定項目	環境基準 (国の基準)	①盛岡市クリーンセンター				②盛岡市内
		測定場所:松 園		測定場所:上米内		測定場所:津志田 ※市役所都南支所
		建設前 (H8~9)	H30	建設前 (H8~9)	H30	H29
二酸化硫黄(ppm)	0.04	0.003	<u>0.001</u>	0.012	<u>0.000</u>	<u>0.000</u>
二酸化窒素(ppm)	0.06	0.022	<u>0.002</u>	0.026	<u>0.001</u>	<u>0.007</u>
浮遊粒子状物質(mg/m3)	0.10	0.067	<u>0.013</u>	0.059	<u>0.012</u>	<u>0.011</u>

※測定項目は他にもありますが「クリーンセンター」及び「津志田」の共通項目で比較

■比較してみても、クリーンセンター周辺は国の基準を大きく下回っています。

大気中のダイオキシン類濃度を一般環境地域1地点と盛岡市クリーンセンター敷地内で測定しました。
平成29年度の測定結果は、次のとおりです。

調査地点	H29 年平均 ※1	《春季》 5月30日～ 6月6日	《夏季》 7月31日～ 8月7日	《秋季》 10月20日～ 10月27日	《冬季》 12月1日～ 12月8日
津志田（一般環境地域）	<u>0.014</u>	0.0069	0.0064	0.032	0.0091
盛岡市クリーンセンター周辺地域	<u>0.011</u>	0.010	0.0076	0.014	0.012

《参考》※2	H18	H24	H29
津志田（一般環境地域）	<u>0.034</u>	<u>0.015</u>	<u>0.014</u>
盛岡市クリーンセンター周辺地域	<u>0.018</u>	<u>0.015</u>	<u>0.011</u>

単 位：ピコグラム-TEQ（1立方メートル当たり）

環境基準値：0.6ピコグラム-TEQ以下（1立方メートル）

※1：測定値は、それぞれの期間に毎日測定した値の平均を表示しています。

資料：岩手県環境生活部_ダイオキシン類環境モニタリング調査結果

※2：「廃棄物焼却炉」周辺地域を『発生源周辺』として調査しており、「盛岡市クリーンセンター周辺地域」が対象となっている「H18・H24・H29」から抜粋

■ 焼却施設周辺の学校のぜん息被患率 「学校保健統計調査」結果

(単位: %)

(単位: %)

小学校		H25	H26	H27	H28	H29	H30
センター周辺 市クリーン	米内	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	松園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北松園	3.9	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0
	東松園	5.5	5.6	6.3	5.9	5.0	0.0
土淵	0.0	0.3	0.0	2.8	3.6	4.1	
市平均	2.55	2.13	2.48	1.33	1.95	0.95	
県平均	3.50	3.60	3.50	2.50	3.90	2.90	
全国平均	4.15	3.88	3.95	3.69	3.87	3.51	

中学校		H25	H26	H27	H28	H29	H30
センター周辺 市クリーン	松園	2.0	2.1	2.0	1.8	0.4	0.0
	北松園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	米内	3.4	3.8	4.2	0.0	0.0	0.0
土淵	4.9	5.8	2.5	1.8	1.7	0.0	
市平均	1.43	1.43	1.85	1.53	1.49	1.30	
県平均	2.20	2.00	1.80	1.50	3.10	3.40	
全国平均	3.22	3.03	3.00	2.90	2.71	2.71	

資料：文部科学省「学校保健統計調査」
割合：《気管支喘息》の該当者/全児童・生徒数

■本調査結果では、「焼却施設」が「ぜん息」の直接原因となっていると特定するのは難しいものと考えられます。

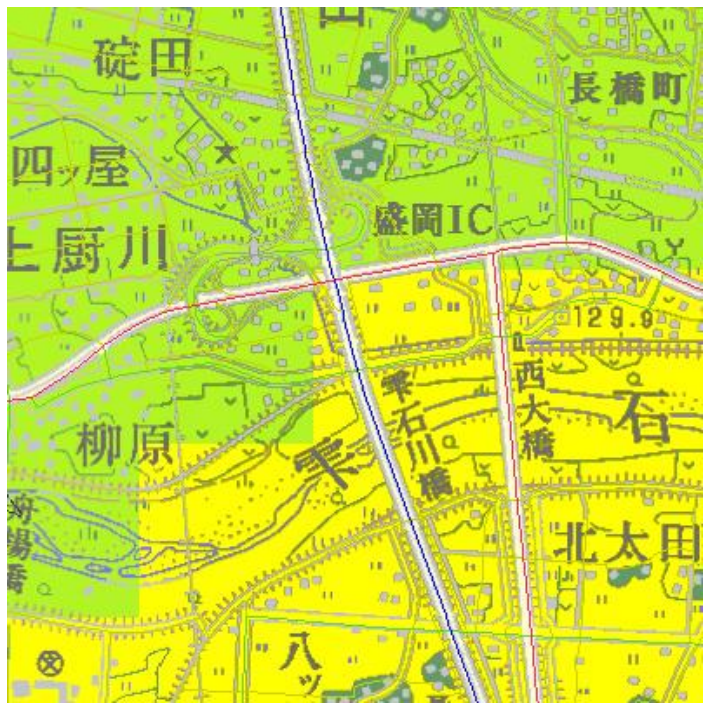
なお、総務省が設置する「公害等調整委員会」においては、「焼却施設」が公害や健康被害の直接の原因と認められた事例報告はありません。

1-② 西から東に吹く風向きの関係から、ごみ処理施設の設置に適していない。風向きについて示してほしい。

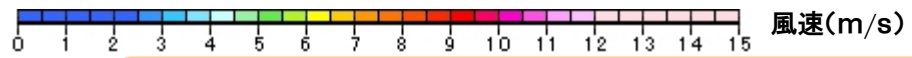
■局所風況マップ(平成17年公開)

(NEDO 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 HP)
年平均風速等の予測計算結果。風力発電の立地点検討を目的に公開。

風況マップ(地上高70m)

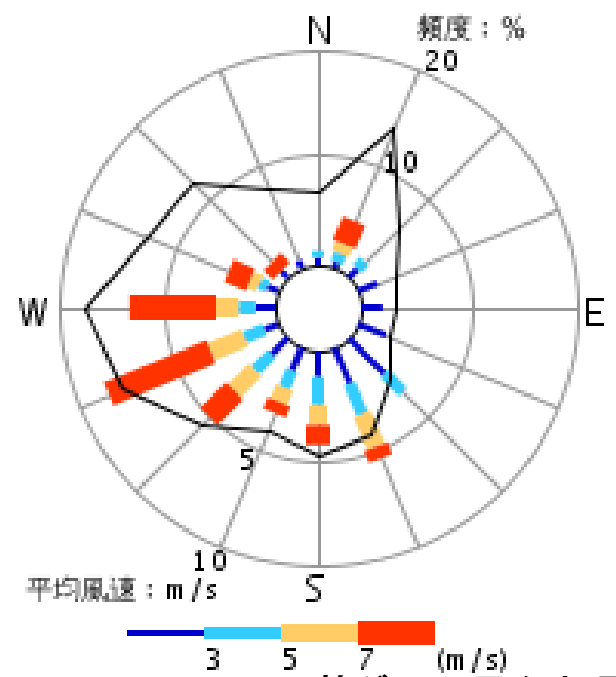


地図の色で想定される平均風速を示す



風配図(地上高70m)

左図の付近で想定される風向頻度, 平均風速



棒グラフ: 風向出現頻度(%)
線グラフ: 風向別平均風速(m/s)

西南西, 西からの風が頻度, 風速とも高いとの予測

1-③ 騒音や悪臭が心配だ。

騒音の測定結果

平成30年度クリーンセンター測定結果(敷地境界)

区分	基準値	6月	9月	12月	3月
朝	50dB	39dB	44dB	35dB	36dB
昼	55dB	40dB	38dB	38dB	36dB
夕	50dB	39dB	42dB	40dB	39dB
夜	45dB	39dB	44dB	35dB	36dB

音の目安：30db 郊外の深夜・ささやき声 50db エアコンの室外機
40db 市内の深夜・図書館 60db 普通の会話

騒音は、それぞれの時間帯毎の基準値に対し、いずれの季節においても**基準を下回っています。**

臭気の測定結果

平成30年度クリーンセンター測定結果(敷地境界)

区分	基準値	測定結果	比較
アンモニア (し尿臭)	1ppm	0.1ppm未満	1/10未満
硫化水素 (卵の腐ったにおい)	0.02ppm	0.002ppm未満	1/10未満
臭気濃度*	10	10未満	基準値未満

測定年月日：平成30年8月21日

* 臭気濃度 = 検体を無臭の空気で薄めていき、においを感じなくなるまでに何倍に薄めたかを表す。

上記を含む22種類の物質と臭気濃度を測定した結果、いずれの項目も**基準値を下回っています。**

エアカーテンの設置や、ピット内の臭気を含んだ空気を焼却炉内で燃焼することで、臭気の流出対策を行っています。

2 交通対策

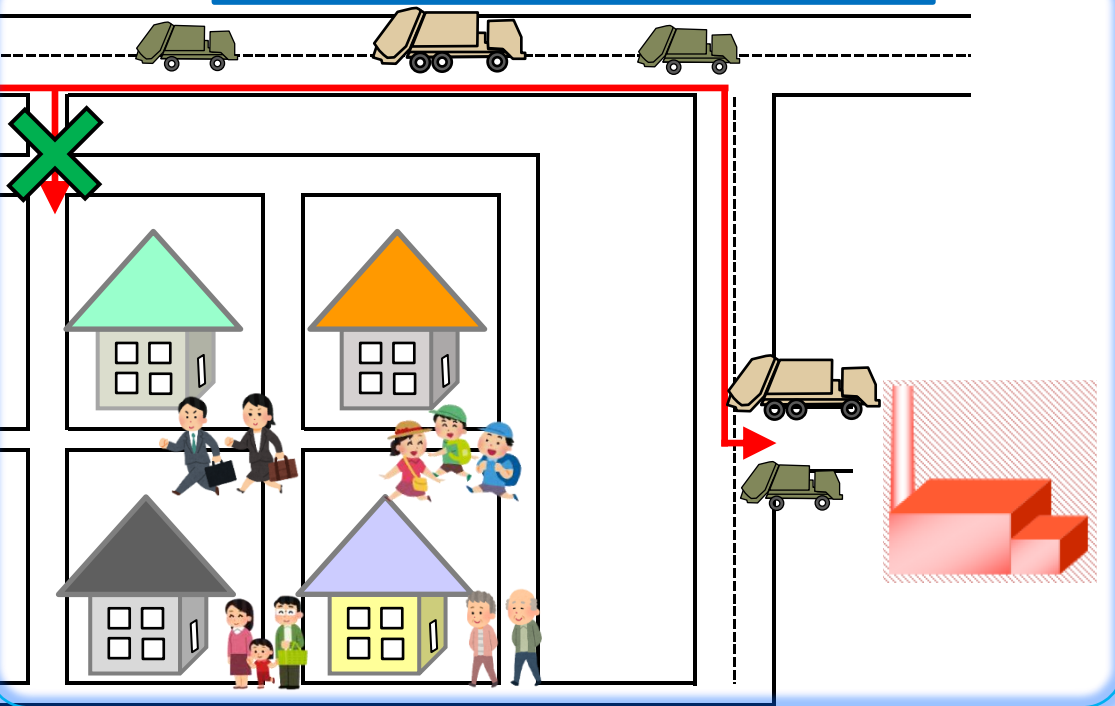
No	内 容
①	搬入車両の安全対策はどのようなものを考えているのか。
②	搬入車両の増加により交通渋滞が発生するのではないか。

2-① 搬入車両の安全対策はどのようなものを考えているのか。

①搬入車両の受入時間の設定



②搬入車両の搬入道路の検討



③環境配慮型の車両の導入検討

EVゴミ収集車
(電池交換型)

電池ステーション



EVゴミ収集車(手前)と
電池ステーション(奥)

(川崎市ホームページ)

※盛岡市クリーンセンター付近においては、パッカー車による搬入時等における事故は稼働（平成10年4月）以来確認されておりません。

2-② 搬入車両の増加により交通渋滞が発生するのではないか。

増加見込578台を受入時間帯別に想定

平成30年9月24日(月)～28日(金)の盛岡市クリーン平均 (単位:台)

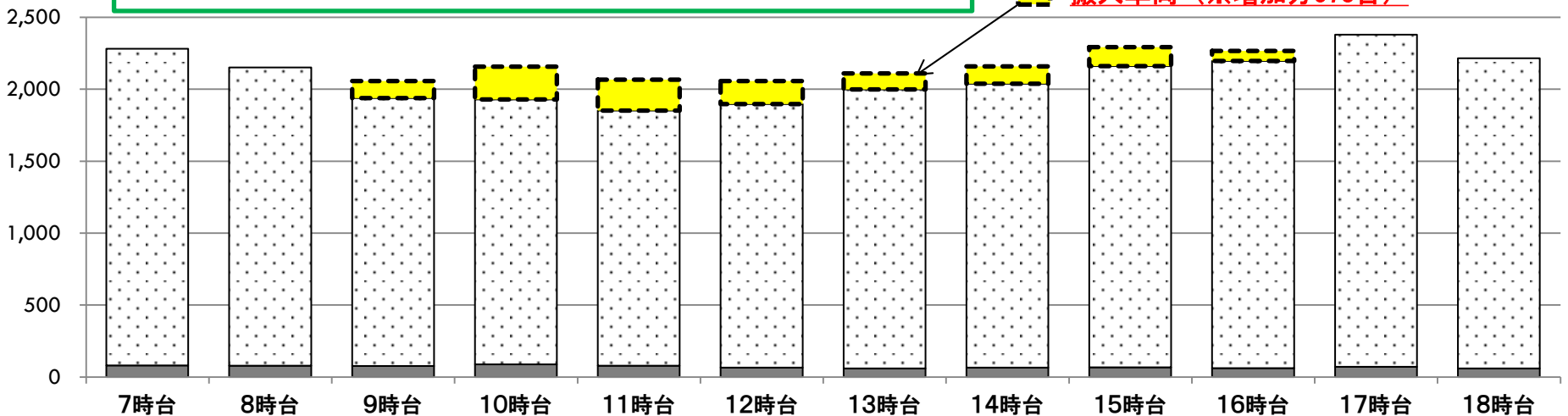
	直営・委託 車両	許可車両	一般車両	計	時間帯別割合 (%)
9時～	20	29	24	73	20.4%
10時～	31	14	23	68	19.0%
11時～	28	13	24	65	18.2%
12時～	4	10	19	33	9.2%
13時～	4	10	22	36	10.1%
14時～	3	9	27	39	10.9%
15時～	1	7	35	43	12.0%
合計	91	92	174	357	100.0%

新焼却施設における(仮)578台/日を
時間帯別割合により按分

9時～	118台
10時～	110台
11時～	105台
12時～	54台
13時～	58台
14時～	63台
15時～	70台
合計	578台

国道46号交通量
調査地点：前潟1丁目（イオン前）

大型車両
 小型車両 } 25,032台
 搬入車両 (※増加分578台)



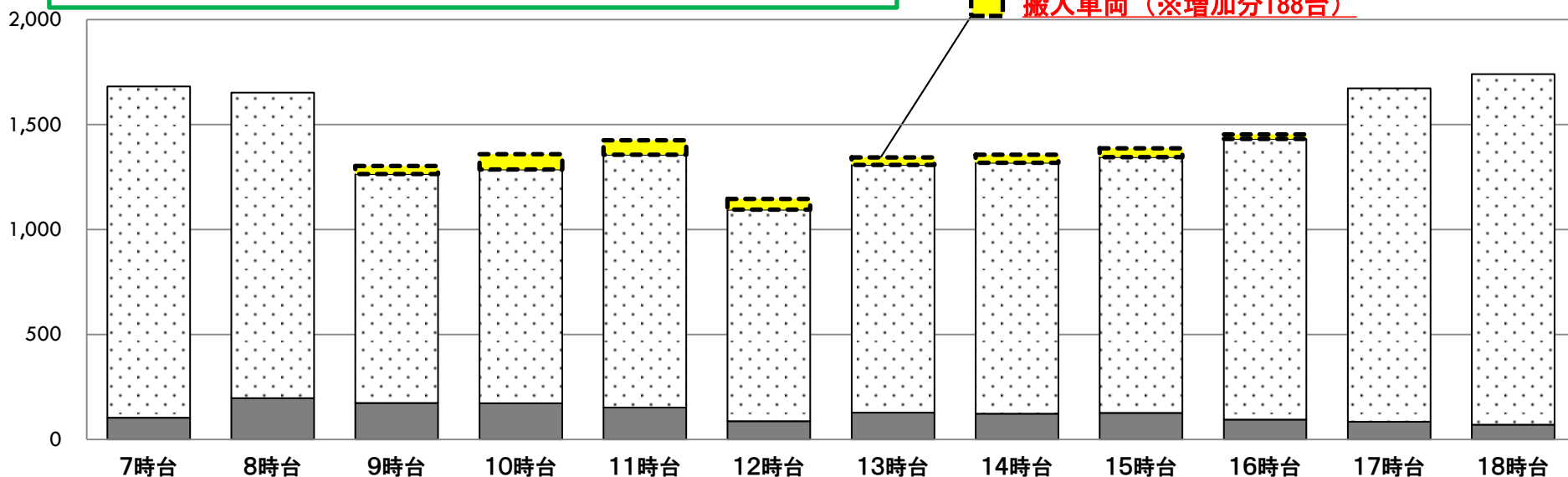
増加見込578台のうち、 西バイパス通行見込車両188台を 受入時間帯別に想定

※西バイパスの通行見込は、盛岡地域（仙北，本宮，向中野，鹿妻，太田，猪去地区），都南地域，矢巾町，紫波町からのごみ収集車台数と一般車両台数を想定

新焼却施設における(仮)188台/日を		時間帯別割合 (%)
時間帯別割合により按分		
9時～	38台	20.4%
10時～	36台	19.0%
11時～	34台	18.2%
12時～	17台	9.2%
13時～	19台	10.1%
14時～	21台	10.9%
15時～	23台	12.0%
合計	188台	100.0%

国道46号交通量 調査地点：上厨川前湯（西バイパス）

- 大型車両
 - 小型車両
 - 搬入車両 (※増加分188台)
- 17,140台



国土交通省：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 ※搬入車両（増加分）：搬入時188台（上り），搬出時188台（1時間後・下り）

3 エネルギーの利活用

No	内 容
①	焼却施設が、ふれあいや賑わいのあるまちづくりに貢献するのか、理解できない。

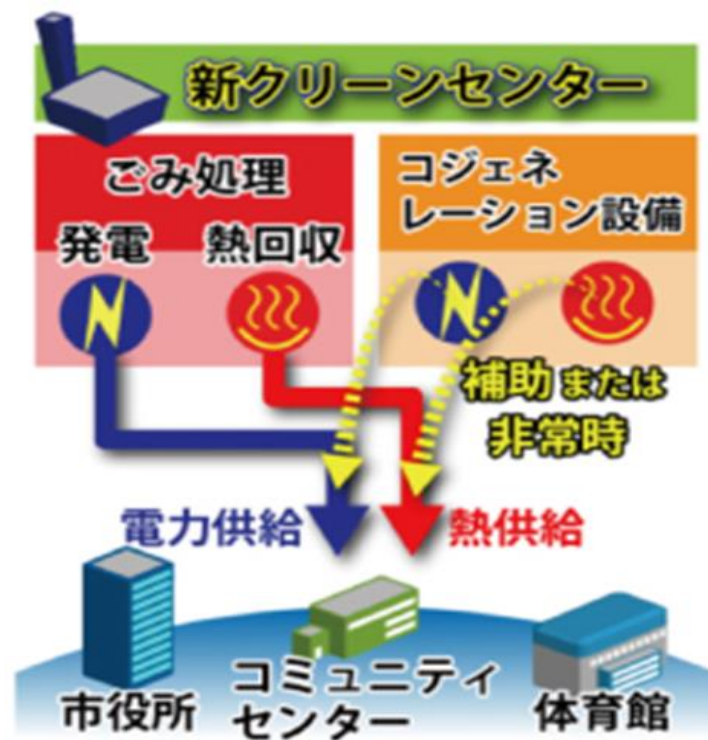
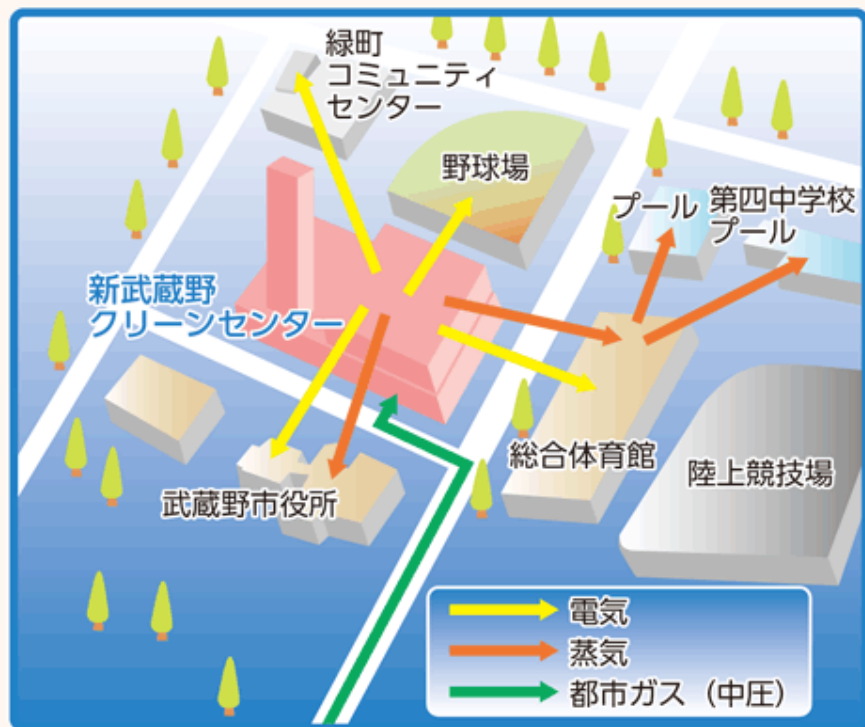
3-① 焼却施設が、ふれあいや賑わいのあるまちづくりに貢献するのか、理解できない。

■地域の皆様と「まちづくり」を検討するに当たり、余熱利用施設や周辺施設に焼却施設で発生するエネルギー（電気・熱）を利用することにより、焼却施設がエネルギー供給拠点として、また、施設見学等を通じて環境学習の機会の場の提供、災害時には地域の避難所としての機能を備えること等により、地域振興やまちづくりに貢献できるものと考えています。

事例 1 : 地域の防災拠点 <東京都 武蔵野クリーンセンター>



■施設の機能やまちづくりについて検討を重ね、災害にも強い施設づくりとしてエネルギー供給機能を備えた「地域の防災拠点」の施設事例です。



■ イベント等の開催

定期的にイベントが開催され、敷地内には飲食ブースが並び、エコに関するワークショップが開催されるなど、多くの市民でにぎわっています。



出典：武蔵野グリーンセンターHP



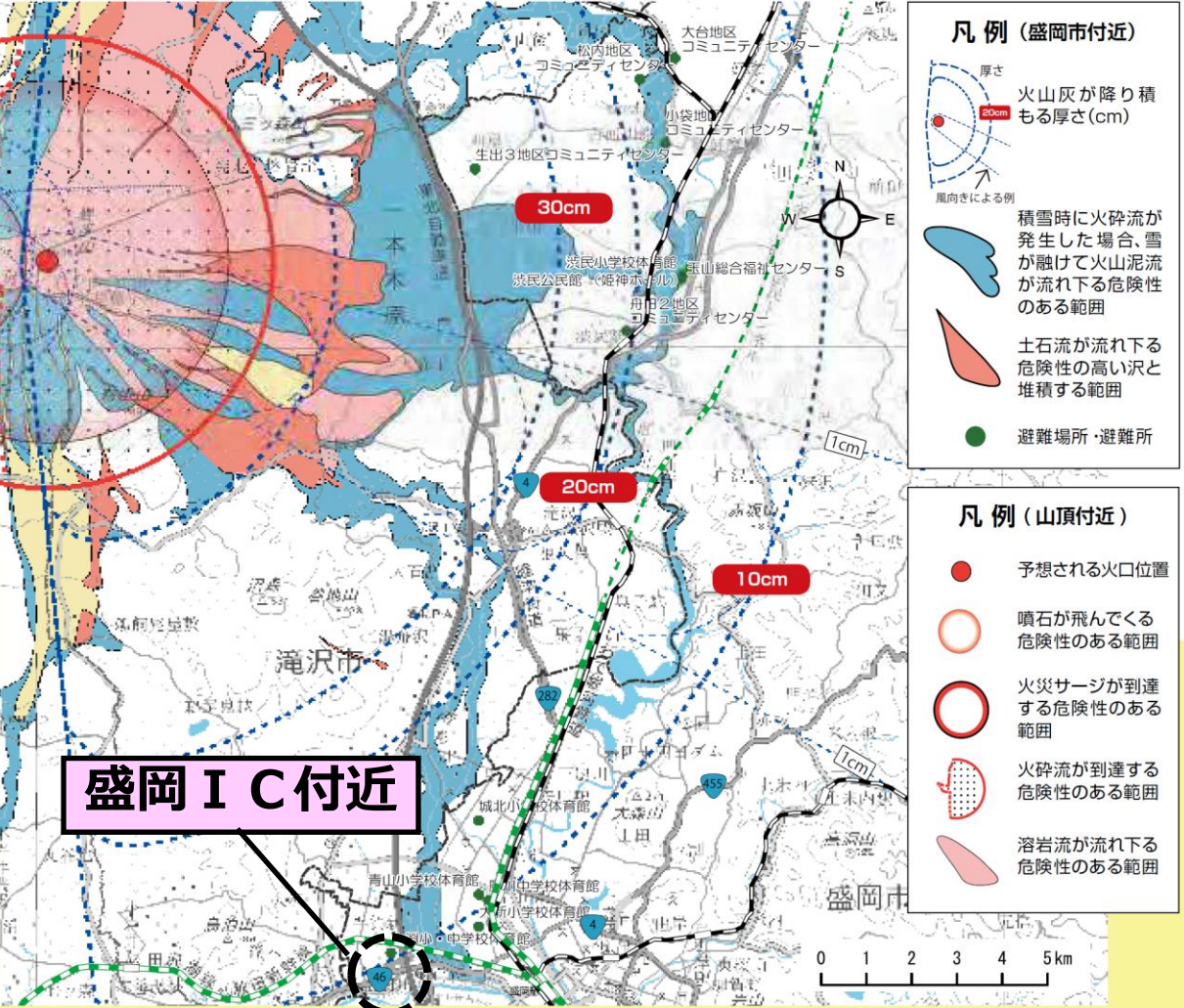
4 その他

No	内 容
①	盛岡インターチェンジ付近の災害リスクについて考慮しているのか。
②	広域市町でごみの分別目標が定まっていないのはおかしい。
③	現有施設の施設改良に費用をかけて行ったが、10年程度で閉鎖するのは無駄ではないか。
④	土淵地区のこれまでの懇談会などの実施状況について教えて欲しい。

4-① 盛岡インターチェンジ付近の災害リスクについて考慮しているのか。【岩手山の噴火について】

■岩手山火山防災マップ

岩手山ではマグマ噴火や水蒸気爆発が想定され、市では降灰や火山泥流の影響があります。



岩手山の噴火時には、約10cmの降灰が想定される。



想定される対策
換気空気の入入口へのフィルター設置等により施設の運転に支障はない

※風向・地形条件等で、到達する方向は変わります。図に示したすべての範囲に到達するわけではありません。


【水害について】


洪水浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域

大雨によって、北上川などの大きな河川が氾濫した場合に、浸水する区域や深さを表示しています。その大雨は2日間の総雨量が明治橋地点上流域において313mm、下流域において264mmの降雨を想定しています。

洪水災害

早期の立退き避難が必要な区域

 早期の立退き避難が必要な区域

 河岸侵食によって家屋倒壊等の危険がある区域

 氾濫流によって家屋倒壊等の危険がある区域

浸水深の目安

10.0m 以上の区域


5.0 ~ 10.0m 未満の区域


3.0 ~ 5.0m 未満の区域

0.5 ~ 3.0m 未満の区域

0.5m 未満の区域

 水位観測所

 避難方向

 アンダーパス・地下道



整備候補地は洪水浸水想定区域外です。

【水害について】

御所ダムについて

○洪水

北上川上流域の氾濫に対するリスクについては、平成28年度に想定最大規模降雨による浸水想定区域図が公表されております。また、平成30年度の西日本豪雨を踏まえた「異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能と情報の充実」に向けた提言を受け、御所ダムに関する想定最大規模の浸水想定図について検討されております。

なお、国土交通省所管のダムで、異常洪水時防災操作を行うような大規模な洪水が発生した場合においても、これまでダムが決壊したことはありません。

○地震

国土交通省では、最大規模の地震に対しても十分な安全性を確保するようにダムの設計などを行っています。東日本大震災の直後に点検を行っており、ダム提体の損傷はなく、安全であることが確認されております。

4-② 広域8市町でごみの分別・減量目標を定めていないのはおかしい。

盛岡広域8市町では、圏域における3R推進の目標と必要な施策を定めるため、令和元年度中に、令和2年度から6年度までの5年間を計画期間とする「循環型社会形成推進地域計画」を策定することとしています。

平成30年度に検討した計画(案)では、令和元年度から5年度までの5年間を計画期間とし、次の目標を定めています。

- ① 新たな焼却施設の稼働1年前までに、受け入れるごみの種類の標準を定めること。
- ② 平成28年度から令和5年度までの7年間で、1人1日当たりの家庭ごみ(資源となるものを除く。)の排出量を7%削減すること。

※ この目標は、各市町が策定している一般廃棄物処理計画において、おおむね10年間で10%削減する目標としていることとの整合を図り設定しています。

令和元年度に策定する計画でも同様の目標とする予定です。

広域8市町は、この目標を達成するため、それぞれの地域の特性を踏まえながら緊密に連携し、圏域におけるごみ減量・資源化に取り組んでいきます。

4-③ 現有施設の延命化に費用をかけて行ったが、10年程度で閉鎖するのは無駄ではないか。

現有施設の延命化については、平成26年度に策定された「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想」において、令和10年度まで延命化を図ることとされており、安定した焼却処理をするために各施設で行われているものです。

各施設の延命化等の状況は次のとおりです。

既存施設名	延命化等の状況
盛岡市クリーンセンター	クリーンセンター長期改修計画(令和10年度まで)に基づき、延命化を図っている。
八幡平市清掃センター	「ごみ焼却施設基幹的設備改良事業」を平成29年度及び平成30年度に実施し、延命化を図った。
滝沢清掃センター	令和10年度までのごみ処理施設整備運営事業の整備実行計画を策定し、延命化を図っている。
葛巻町清掃センター	平成27年度に大規模改修工事を実施し、延命化を図った。
岩手・玉山清掃事業所	長期計画はなく、年度ごとに施設に必要な修繕・改修を行い延命化を図っている。
盛岡・紫波地区環境施設組合 清掃センター	「ごみ焼却施設基幹的設備改良事業」を平成29年度及び平成30年度に実施し、延命化を図った。

4-④ 土淵地区のこれまでの懇談会などの実施状況について教えて欲しい。

日付	内容
平成29年7月	<p>第1回住民説明会(対象自治会:上厨川自治会, 前潟自治会) 【主な質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に対する不安, 国道46号線の交通渋滞 ・地域振興策 <p style="text-align: right;">ほか</p>
平成29年10月	<p>第2回住民説明会(対象自治会:上厨川自治会, 前潟自治会) 【主な質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範囲を拡げた住民説明会の実施 ・土地区画整理事業との関係 <p style="text-align: right;">ほか</p>
平成30年5月	<p>土淵地区まちづくり懇談会(対象自治会:土淵地区全6自治会) 【懇談事項】</p> <p>「土淵地区の均衡あるまちづくり計画について」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①新駅の設置 ②交通対策 ③上厨川土地区画整理組合跡地利用

日付	内容
平成30年11月	<p>第1回「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会」 【懇談事項】</p> <p>(1)(仮称)前潟駅の新設 (2)交通対策 (3)上厨川地区土地区画整理事業跡地の土地利用</p>
平成31年1月	<p>第2回「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会」 ※第1回懇談会と同じ懇談事項 各メニューとも第1回懇談会での主な意見・質問等への回答</p>
平成31年2月	<p>「秋田市総合環境センター」視察・見学会 見学の目的:周辺環境が類似</p>
令和元年5月	<p>第3回「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会」 ※第1, 2回懇談会と同じ懇談事項 各メニューとも第1, 2回懇談会での主な意見・質問等への回答</p>
令和元年7月	<p>「仙台市松森工場」視察・見学会 見学の目的:周辺環境が類似, スポパーク松森(余熱利用)</p>
令和元年9月	<p>「武蔵野クリーンセンター」視察・見学会 見学の目的:地域との関わり(視察日開催のエコイベント)</p>